

商学部学術講演会

日時 2019年12月3日(火) 13:00-14:30

場所 第2学舎4号館F401教室

演題 「America First のもつ意味合い
～アメリカ人の怒りと失望、そしてこれから～」

講師 杉浦康之氏

元 北米三菱商事株式会社 社長

公益財団法人 東洋文庫 専務理事 (現職)

いま、米国社会の底流にどのような変化が生じているのだろうか。 米国トランプ大統領は、2020年11月の再選を念頭に、脇目も振らず実績づくりに邁進している。それは選挙のための得点稼ぎでしかないのか、米国が対処すべき課題に答え得るものなのか。一方で、候補者が乱立している民主党は、米国の課題にどのように答えようとしているのか。掲げる政策は、国民の期待に答えるものになっているのだろうか。さらに、米国と中国との覇権争い(特に技術分野)は激しさを増し、トランプ大統領以上に米国議会は、中国の知財政策を問題視している。これらの中から見えてくる“America First”の持つ意味合いと外交関係の行く末を一緒に考えていきたい。



～プロフィール～

1978年3月 東京大学経済学部 卒業
1978年4月 三菱商事株式会社 入社
2006年4月 米国三菱商事株式会社 CFO
2012年4月 米国三菱商事株式会社 社長
2013年4月 北米三菱商事株式会社(持株会社) 社長
2016年4月 三菱商事株式会社 顧問
2016年6月 国際金融情報センター理事(～2018年6月)
2017年2月 ハーバード大学アジア・センター 国際諮問委員

関西大学商学部・商学会共催

商学部以外の学生諸君も奮ってご参加下さい。